

施策評価管理シート

2012(平成24)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
教育委員会	中野 伸宏	63-7100(市民スポーツ室)

施策体系	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本施策	2	豊かな心をはぐくむ生涯学習の推進
	施策	2	生涯スポーツ

1. 施策の基本方針

Plan

- ・スポーツ関係団体や地域との連携を図り、生涯スポーツ社会の実現に向けて取り組みます。
- ・ニュースポーツの普及やイベントの開催、スポーツ・レクリエーション施設の整備、民間施設の活用等も含めた整備計画を策定し取り組みます。

2. 目標

重点目標

Plan

- ・市民スポーツの日常化促進につながる環境づくりをします。
- ・年度内に体育施設及び武道交流館の指定管理の更新をします。
- ・体育施設の整備計画の策定(見直し)と新たな財源確保へのスポーツ振興基金(目的別)等に取り組みます。
- ・年度末までに市民プール改修及び総合体育館受電設備等の改修します。
- ・年度中に平成24年度総合体育館等の耐震工事に係る事前検討します。

目標達成に向けた課題

Plan

- ・市民スポーツの日常化に向け、新しい公による事業委託を実施しました。また、体育健康フェスタ等、各種団体とともに事業を推進できました。しかし団体により取組に対して温度差があるため、さらなる働きかけが今後必要です。
- ・体育施設及び武道館の平成24年度から3ヵ年の指定管理委託更新が完了しました。
- ・平成23年12月27日にスポーツ推進審議会を開催し、整備計画を見直しました。計画の実現に向けて、財源の確保に不安定要素があります。
- ・市民プール改修及び総合体育館受電設備等の改修が完了しました。
- ・総合体育館及び勤労者福祉会館の平成25年度改修に向けての計画(設計予算)は進行していますが、耐震工事の予算確保について検討が必要です。

施策指標(目標)及び達成状況

Plan

Do

施策指標(目標)の内容 (単位)		現状値 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2015 (H27)	進捗率
週に1回以上スポーツに親しんでいる市民の割合 (%)	目標	-	-	-	-	40.0	43.0	
	成果	36.5	37.5	39.7	40.6			63%
スポーツリーダーバンク利用回数【延べ値】(回)	目標	-	-	-	-	125	260	
	成果	15	15	15	15			0%
市民1人あたりの年間体育施設利用回数 (回)	目標	-	-	-	-	5.5	6.0	
	成果	5.0	5.1	4.8	5.1			10%

3. 取組内容

課題解決への取組内容

Do

- ・市民スポーツの日常化につながる、普及活動について、各種団体の連携を行い、指導者の養成に努めます。
- ・体育施設整備については、財源確保のための調査を引き続き実施し、整備計画に基づき実施できるよう、国体事業ともからめながら遂行します。

地域等との連携、協働に向けた取組

Do

- ・市民スポーツの日常化において、総合型地域スポーツクラブの積極的活動推進に向け指導・助言を行います。また、学校開放事業を通して、地域のスポーツ活動の提供を実施していきます。

4. 施策達成のための事務事業及び評価

(合計 6 事業)

Do

Check

事務事業シート番号	事業名・担当室名		事業費 (単位：千円)		事務事業シートでの今後の方向	施策達成への貢献度	施策達成への重要度
			2010 (H22)	2011 (H23)			
1173	スポーツ活動振興費	市民スポーツ室	6,591	9,649	継続(事務改善)	A	A
4081	総合体育館受電設備等改修事業	市民スポーツ室	-	5,444	H23完了	B	B
4082	市民プール改修事業	市民スポーツ室	-	51,742	H23完了	B	B
5047	武道交流館いきいき管理費	市民スポーツ室	12,071	13,504	継続(事務改善)	B	B
5050	体育施設管理費	市民スポーツ室	42,117	37,564	継続(事務改善)	B	B
6120	保健体育総務一般経費	市民スポーツ室	5,380	4,266	継続(事務改善)	A	A
合計(単位：千円)			66,159	122,169			
小計(うち、一般会計分)			66,159	122,169			
小計(うち、特別会計・企業会計・組合会計分)			0	0			

5. 部局による施策評価

Check

評価
事業推進の一部改善
成果・評価理由
<ul style="list-style-type: none"> ・市民スポーツの日常化に向けて、各団体の育成に関し、特に総合型スポーツクラブの支援を図り、自立した団体への育成に努める必要があります。 ・体育施設整備計画については、スポーツ振興審議会を開催し、進捗の確認と検証を行い、計画具体の検討を要します。

6. 今後の施策の方向性、改善方法

Action

<ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツの拠点と位置づけた総合型地域スポーツクラブ本体そのものの事業方針や計画を基に、自立運営体制に向けた共通認識・意思疎通等を図らなければなりません。 ・武道交流館及び総合体育館の両施設については、どちらも新たな管理者であり、初年度でもあることから、綿密な調整を進めていく必要があります。 ・老朽化する各体育施設について、スポーツ振興計画に基づく年次の改修計画に沿って、施設維持及び財源確保への補助メニュー等調査しつつ、ハード事業も進めていかなければなりません。 ・スポーツ推進審議会を年2～3回の開催を目指し、委員とともに共通認識を保持し、スポーツ振興計画に基づき、より良いスポーツ振興施策を促進します。
--

7. 総合評価

評価
C 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われているものの、いくつかの課題、改善の余地が見受けられる
評価理由及びその他(意見)
<ul style="list-style-type: none"> ・課題の整理が必要である。 ・行政の役割変化を踏まえ、「選択と集中」のもとに施策を推進する必要がある。